

2019年(平成31年)

4月10日 第1804号

発行 足立区  
編集 報道広報課  
住所 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1  
☎ 3880-5111 (代表)  
FAX 3880-5678  
✉ voice@city.adachi.tokyo.jp

お問い合わせコールあだち ~気軽に聞けます! 区の情報~  
(毎日、午前8時~午後8時) ☎3880-0039 FAX3880-0041

# あだち 広報

## 足立ブランド

区内の2,000を超える町工場の中で、足立ブランド認定企業は56社(4月1日現在)。  
斬新な発想を製品化させる「高い技術」を誇り、  
足立のものづくりを盛り上げるために精力的に活動中!

12面で新規認定企業3社を紹介

問い合わせ先 ものづくり振興係 ☎3880-5869

2019  
ADACHI BRAND



布を裁断する菅谷正さん(株マーヤ)

### 教育委員会委員が就任しました

31年第1回区議会定例会で、教育委員会委員任命の同意があり、4月1日付で新しく就任しました。(敬称略)



教育委員会委員 近藤俊明

問い合わせ先=教育政策担当  
☎3880-5962

足立区長 近藤 俊明

足立区民の健康寿命が国や都の平均より約2歳短いことを受け、糖尿病対策一本に絞る「住んでいるだけで自ずと健康になれる街」をめざすのが当区の「ベジタベライフ」事業です。平成22年と比較して27年の健康寿命が男女とも約1歳延びた成果から、厚労省主催の「第6回健康寿命をのばそう!アワード」で優良賞を受賞したことを「存じの方もいらっしゃるかと思いますが」さらに今般当区の取り組みが、日本の健康施策に関する「経済協力開発機構(OECD)」のレポートの中で「世界最高水準」と高く評価されるとともに、厚労省が全国の健康対策担当者を集めた会議の席上、「足立区のような、住んでいるだけで健康になれる社会をめざす取り組みを各自自治体においても展開してください」との発言があったと聞きました。◆英語で書かれたレポートには、「ベジタベライフ協力店」などの展開により、区民の野菜摂取量が徐々に増えていることに加え、「ベジタベ」の「タベ」は英語で「eat(食べる)」を意味するとの説明もあり、ちよつとうれしくなりました。◆区担当者はもちろんのこと、健康づくり推進員や市場関係者など、ご協力くださる関係各位も、喜んでいただけると思います。とはいえ、国や都の平均とはまだ1歳少々の開きがあるのも事実。「ひと口目は野菜から」と、今後もブレずに頑張っていきます。

菅谷 正